

1995年度
くまもと
アートポリス
推進賞



K U M A M O T O A R T P O L I S
A M O T O A R T P

熊本県

第1回「くまもとアートポリス推進賞」の選考にあたって

本年度から、新たに「くまもとアートポリス推進賞」の表彰が行われることになり、平成7年10月20日から11月30日まで、応募作品の公募が行われた。賞の趣旨や選考基準については、募集要項に明らかにされている通りである。

この賞は、既に9回を数えている「くまもと景観賞」と違って、建造物そのものの作品の質が評価の対象になるため、応募作品については推薦理由の他に、建物を理解するために必要な外観や内部の写真及び図面などが求められていて、応募するにも手数がかかる。そのため、果たして実際にどれほどの応募件数があるのか、事前には見当がつかなかった。しかし、幸い関係者各位の大変熱心なご協力によって、87点にのぼる候補作品の推薦が得られたことは、選考委員の一人として感謝にたえないところである。

87点の候補作品について、平成7年12月9日と12日に行われた第1次選考委員会において21点が選ばれ、この21点について平成8年2月1日から4日にかけて現地審査を行い、最終選考委員会において慎重審議の結果、別記の8点が本年度の「くまもとアートポリス推進賞」の表彰作品とすることが決定された。

今回は、アートポリス推進賞としては最初の選考であったため、審査の過程でいくつかの疑問や問題点が指摘され、それらをめぐって活発な討論が行われた。例えば、アートポリス推進賞には「建築賞」という性格は否めない。しかし、その建築が作品として如何に優れているかという観点ばかりでなく、その建築がどれだけ地域の美化、活性化、地域社会のアメニティーに役立っているか、という評価の視点があってもよいのではないか、という議論もあった。あるいは、6項目の選考基準の中に「優れたデザインを有するもの。」という項目が挙げられている。一般に、公共工事の場合には設計・施工の条件に一定のレベルが保たれており、優秀作品と見做されるものがどうしても公共工事に偏る傾向がある。これに対して、民間の工事（これを商業建築と称する）では、一般に公共工事より制約条件が複雑になるので、結果として、優れた建築とは認められないという事にもなり易い。商業建築のレベルが上がることはこの賞の狙いの一つでもあるので、商業建築と公共建築は始めから二つのジャンルとして区別したらどうか、という提案もあった。また、今回の推進賞では残念ながら選から洩れたが、将来の大成が期待される新人に対して、期待と激励の意味を込めた「奨励賞」「努力賞」といった類の賞を贈ることはできないだろうか、という提案も行われた。

これらの議論の中で、既に発表された募集要項に明らかに抵触する部分については、選考の過程でにわかに入力することは遠慮すべきであると思われるので、必要があれば、次回の募集要項を決める際に、募集要項そのものを改めて検討することとなった。しかし、公共建築と商業建築、あるいは地域のアメニティーに関する議論などが、今回の審査結果にも微妙に影響していることは否定できない。

審査の過程で交わされたこのような議論は、建造物や景観の問題を一部の専門家に委ねてしまうのではなく、市民の手に引き寄せ、自分たちの問題として考える手掛かりとして重要な問題であった。今後もこのような討論を積み重ねていくことが、くまもとアートポリス推進賞を、地域社会に対して更に有意義で、実り多いものに発展させていくために必要であり、選考委員会の重要な任務であると考えている。延べ長時間にわたる選考委員会を通じて、終始積極的に真摯な討論に加わって下さった委員各位に対して深甚な敬意を捧げるものである。

選考委員長 堀内清治

小国町立西里小学校

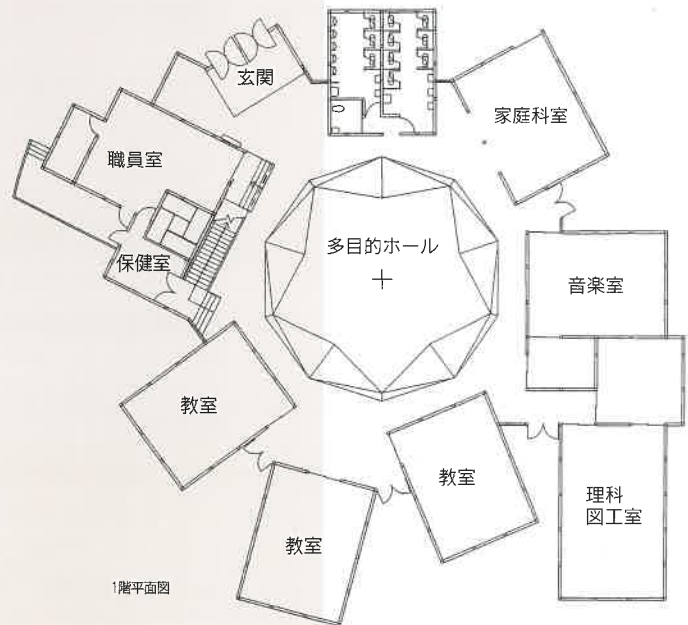
事業主：小国町
設計者：木島安史+株式会社計画・環境建築
施工者：株式会社橋本建設
管理者：小国町立西里小学校
所在地：阿蘇郡小国町
竣工：平成3年9月
用途：小学校
構造：木造+一部RC造 階数：地上2階、地下1階
敷地面積：7,245㎡ 建築面積：814㎡ 延床面積：949㎡



現在の生徒総数23名という山間の小さな小学校で、複式学級の教育が行われている。我々が小学校に寄せる夢や望みを、そのまま現実の姿として建て上げたら、こういう形になるかと思わせる建築である。お伽噺のような建築の美しさと、その中で繰り広げられている行き届いた教育は、ここに学ぶ子供たちの暖かい心を膨らませ、生き生きと輝く目を持った少年に育て上げるに違いないと思われる。



撮影：神原陽一（2点とも）

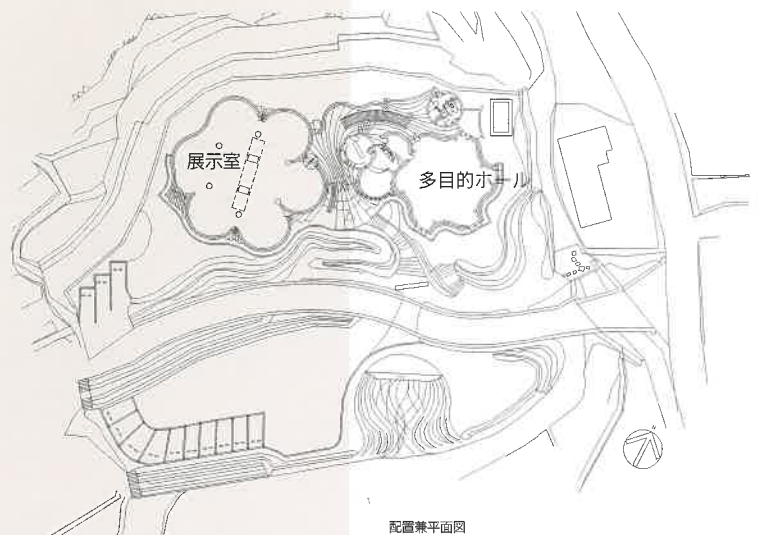


東陽村石匠館

事業主：東陽村
設計者：木島安史+株式会社計画・環境建築
施工者：株式会社盛建設
管理者：東陽村石匠館
所在地：八代郡東陽村 竣工：平成5年12月
用途：博物館（歴史資料館）
構造：RC造+木造 階数：地上1階
敷地面積：1,763㎡ 建築面積：831㎡ 延床面積：830㎡



撮影：神原陽一



肥後種山の石工のふるさととして、数々の眼鏡橋が残っている東陽村に建てられた、眼鏡橋に関する資料館である。華やかな六弁形の展示室と多目的ホールからなる石匠館を造るために、中国から石工を招聘し、新しい採石場を開発して、過去多くの眼鏡橋の材料となった容結凝灰岩を切り出し、積み上げた石積みの壁の上に、軽々とした木造の屋根を載せている。曲面を駆使した巧みな造形によって、建物自体も一つの展示品になっている。資料館の運営並びに維持管理の努力も評価される。

八代広域行政事務組合 消防本部庁舎

事業主：八代広域行政事務組合
 設計者：株式会社伊東豊雄建築設計事務所
 施工者：大日本土木株式会社・木村建設株式会社・
 株式会社松島建設建設共同企業体、
 東芝空調株式会社・東設備工業株式会社・
 有限会社野田設備建設共同企業体、株式会社九電工・
 白鷺電気工業株式会社・旭設備工業株式会社建設共同企業体

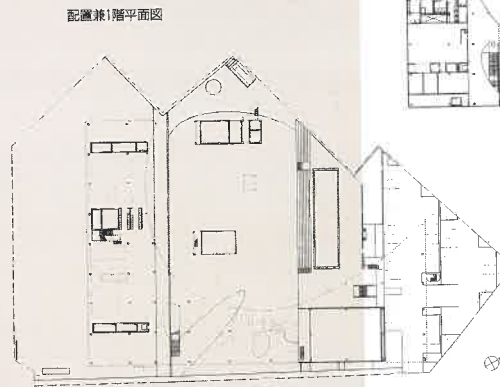
所在地：八代市大村町 竣工：平成7年4月
 用途：消防本部庁舎 構造：鉄骨造一部RC造 階数：地上2階、地下1階
 敷地面積：8,055㎡ 建築面積：3,225㎡ 延床面積：4,683㎡



九州縦貫道八代インターと八代港を結ぶ幹線道路、臨港線沿いに建てられた消防本部の建物で、消防署としての機能を重視すると共に、市民に開かれたオープンな施設とするために、建物全体が高いピロティーで空中に持ち上げられている。極限まで細くされた柱の上のつた大きな弧を描く2階は、日本人が未だ見たことがないような軽さを印象づけ、公共建築の新しい姿が生まれた。消防本部職員の律義な保守管理と、市民の愛情とが相まって、八代の誇りとして人々に馴染んでゆくことが期待される。

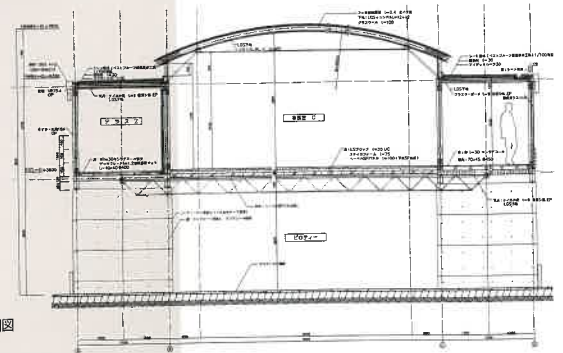


撮影：岡本公二(下)、新建築写真部(上)



株式会社野田市兵衛商店 流通団地営業所

事業主：株式会社野田市兵衛商店
 設計者：株式会社ワークショップ
 施工者：株式会社小竹組
 所在地：熊本市流通団地 竣工：平成6年2月
 用途：事務所、倉庫 構造：鉄骨造一部RC造 階数：地上2階
 敷地面積：2,500㎡ 建築面積：353㎡ 延床面積：576㎡



熊本市の流通団地に所在する既存の事務所と倉庫を繋ぐ建物で、敷地の有効利用を図るために建物を2階に持ち上げている。極度に軽量化された構造体、壁から離れて浮き上がった曲面天井、西日避けるために設けられたヴェランダの活用、新しい空調システムなどの工夫を積み重ねて、ガラスの皮膜に包まれた交流の空間として新しいタイプのオフィス空間を創造した。それらの工夫は近代建築のオーソドックスな手法に沿ったもので、理解されやすく、多くの人の共感を得ることだろう。優れた商業建築として高く評価される。



撮影：斎部 功(2点とも)

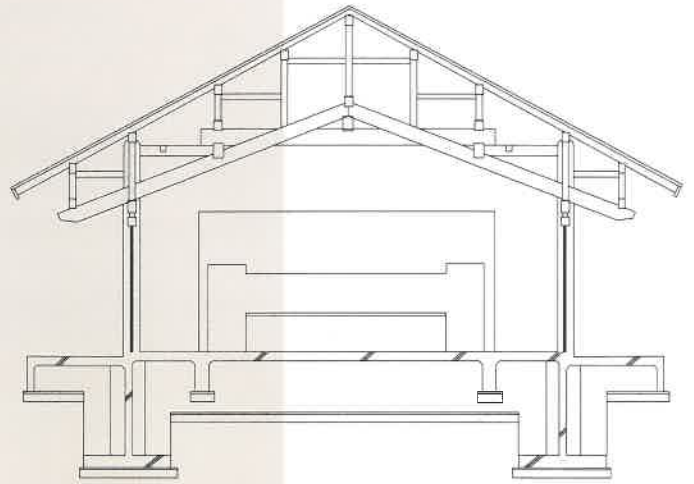
■ 清和物産館 (四季のふるさと)

事業主：清和村
 設計者：株式会社石井和紘建築研究所
 施工者：株式会社日動工務店
 管理者：清和村文楽の里協会
 所在地：上益城郡清和村 竣工：平成6年3月
 用途：物産販売、食堂
 構造：木造 階数：地上1階
 敷地面積：13,060㎡ 建築面積：651㎡ 延床面積：510㎡

清和村活性化の方策として企画された文楽館と一体として構想された、物産の展示即売のための施設である。設計者が割り箸構造と名付けた特殊な屋根構造をもつ柱だけの建築で、両側面の柱は緩く湾曲した円弧形を平行移動させた曲線上に配置され、その上に並行した、いわゆる割り箸構造の合掌が平行に並べられている。このように特殊な構造を持っているので、施工技術的には難しい問題があったと想像される。文楽館と一体となって清和村を活性化する核となり、ハード、ソフト両面の工夫により多くの来館者を集めている。



撮影：新建築写真部



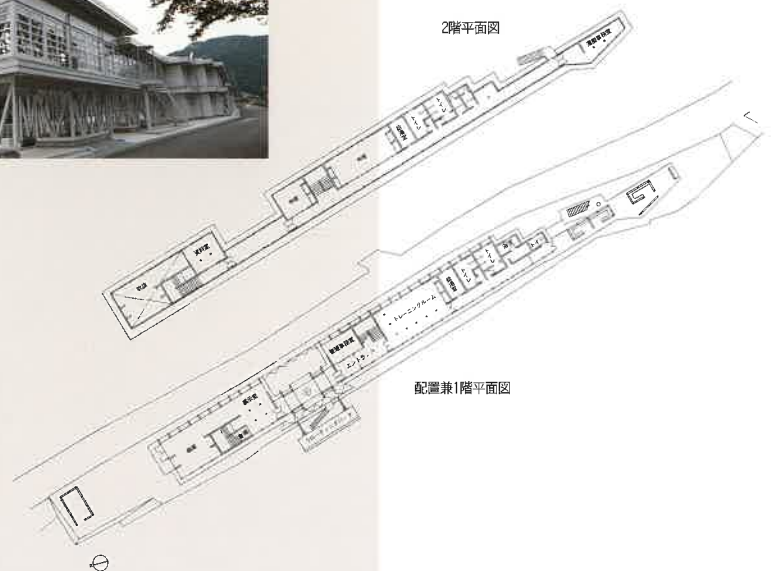
断面図

■ 荒瀬ダムボートハウス

事業主：坂本村
 設計者：桂英昭+AIR
 施工者：山口建設株式会社、
 合資会社平野電気設備工業所、
 株式会社向洋設備工業
 所在地：八代郡坂本村 竣工：平成7年3月
 用途：ボートハウス
 構造：木造 階数：地上2階
 敷地面積：1,074㎡ 建築面積：504㎡ 延床面積：774㎡



撮影：新建築写真部



2階平面図

配溜兼1階平面図

現在漕艇場として利用されている荒瀬ダム湖に沿って建てられた高校・大学のボート部の宿舎で、競技が行われる時には本部・観覧場となり、空いているときには近隣住民の集会等にも利用されている。建物は、湖に沿って100メートル近くも一直線に伸びる木造建築で、白ペンキ塗りの瀟洒な外観はボートのクラブハウスに相応しい端正な力強さを印象づけ、周囲の自然と調和している。長大な廊下に沿って設けられた諸室は抑制の効いた簡素さの中にのびのびとした解放感があり、山村に造られるスポーツ施設として出色の建築である。

■ 出田眼科病院

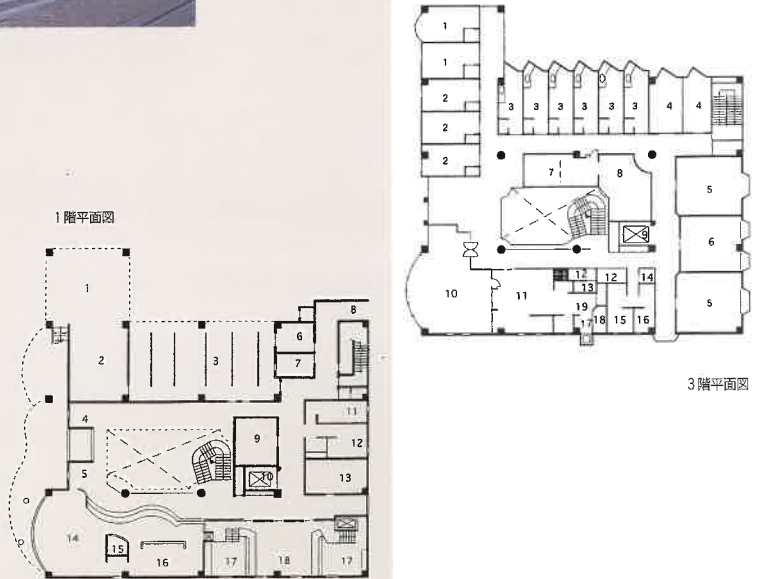
事業主：医療法人出田会 出田眼科病院
 設計者：株式会社NTTファシリティーズ九州支店
 一級建築士事務所
 施工者：株式会社鴻池組
 所在地：熊本市西唐人町 竣工：平成6年9月
 用途：病院 構造：RC造 階数：地上3階
 敷地面積：2,167㎡
 建築面積：1,053㎡
 延床面積：2,618㎡



76年の歴史を持つ由緒ある病院の増築に当たって、これまで培った医学の技術の上に立って、地域に密着したアメニティー・ホスピタルを目指すという院長の方針に従って、病院らしくない病院、質の高い居心地をもったアットホームな病院となっている。施設の一部を開放したり、入口回りの段差をなくしてバリアフリー化を追求するなど、近隣社会への貢献や繋がりにも細かい配慮が見られる。デザインの新奇さを追求するのではなく、町の中に立つ建物として、なすべきことをきちんと実現していることが評価された。

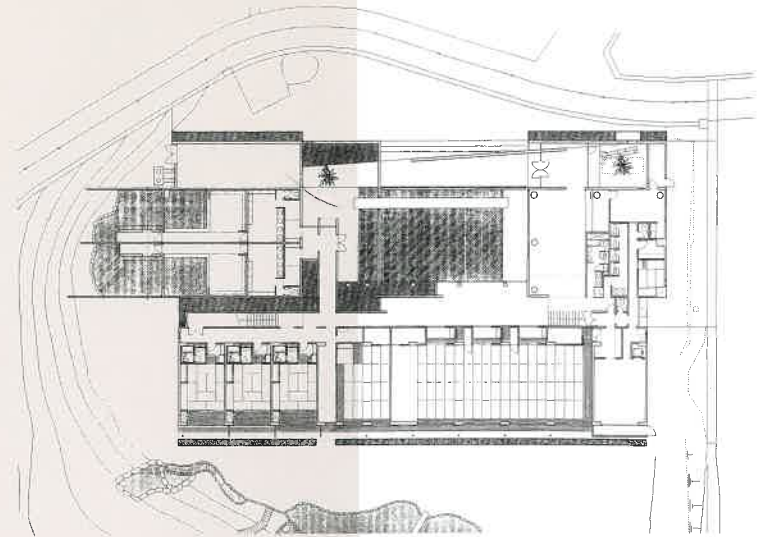


撮影：清島靖彦（2点とも）



■ 尚玄山荘

事業主：有限会社有明総業
 設計者：株式会社竹中工務店九州支店設計部
 施工者：株式会社竹中工務店九州支店
 所在地：玉名市河崎 竣工：平成5年12月
 用途：旅館
 構造：RC造 階数：地上2階
 敷地面積：6,228㎡ 建築面積：995㎡ 延床面積：1,538㎡



配置兼1階平面図



撮影：岡本公二

玉名で孝行息子として言い伝えられている徳永尚玄に因んだ温泉保養所・宿泊施設である。観光客ばかりでなく、地域住民、近隣のお年寄り、障害者など多くの人々に日常的に親しまれている。建物は入口に新たに設けられた人工の水盤のような抽象的な庭と、背後にある既存の日本式庭園の間にあり、利用者はガラス壁によって切り取られる様々な外部空間を室内で感じることが出来るように配慮されている。建物を覆う瓦葺きの大屋根は単純で清潔な外観を引き締めている。

熊本県は、質の高い独創性のあるデザインを有するなど、総合的に優れた建造物を顕彰することで、環境デザインに対する関心を高め、都市文化並びに建築文化の向上による地域づくりを図ることを目的に、「くまもとアートポリス推進賞」を創設しました。

本賞は、単にデザインが優れているだけではなく、技術的な提案、良好な施工、利用面における創意工夫、良好な維持管理及び人や環境に優しい配慮がなされていること等を総合的に評価して、選考されるものです。

募集要項

□表彰対象

昭和63年4月1日以降に竣工した熊本県内の建築物、橋及び公園等の建造物等（くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設は除く）とします。

□選考基準

「くまもとアートポリス推進賞」の選考は、建造物等の企画、設計、施工及び施設の運用などに関する総合評価に基づいて行います。

評価のポイント

- ・優れたデザインを有しているもの
- ・技術的な提案や施工方法の改善がなされているもの
- ・良好な施工が行われているもの
- ・建造物の利用など、ソフト・機能面において創意工夫が活かされているもの
- ・人や環境にやさしい配慮がなされているもの
- ・メンテナンスが良好なもの

□賞

くまもとアートポリス推進賞（知事表彰） 5点程度

それぞれの事業主（必要に応じて管理者を含む）、設計者、施工者に表彰状を贈ります。また、事業主には銘板を贈ります。

□応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

選考委員会

委員長 堀内清治（熊本工業大学教授）

委員 桐敷真次郎（東京家政学院大学教授）

〃 陣内ヒロミ（慈愛園パウラスホーム施設長）

〃 トム・ヘネガン（アーキテクチャーファクトリー代表）

〃 永田求（熊本県文化協会常務理事）

〃 早川邦彦（早川邦彦建築研究室代表）

〃 久野啓介（熊本日日新聞社論説委員長）

〃 藤井輝彰（熊本経済同友会副代表幹事）

〃 渡辺定夫（工学院大学教授）

選考経過

第1回委員会 平成7年9月30日 募集要項の検討

募集 平成7年10月20日～11月30日 応募総数：87件

書類審査 平成7年12月9日（東京）、平成7年12月12日（熊本）

現地審査 平成8年2月1日～4日 現地審査件数：21件

最終審査 平成8年2月4日 受賞件数：8件

表彰式 平成8年3月25日



くまもとアートポリス事務局

熊本県土木部建築課内

〒862-70 熊本市水前寺6-18-1

TEL : 096-383-1111 (内線6215)